

2026年7月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人

『日米加 次世代防衛イノベーション・Dual Use技術と サプライチェーン強靱化調査団』 派遣に伴うご案内

日本政府は防衛産業を支援する生産基盤強化政策を閣議決定しました。防衛装備品の輸出を後押しするため、製品を海外向けに仕様変更するための費用などを、助成する基金を創設しました。

こうした状況を踏まえ本連盟では、日本の防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化を支援するため、2024年3月に 防衛装備庁前長官/防衛省顧問 土本 英樹 氏に

『訪米防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』を派遣

2024年10月に 公益財団法人防衛基盤整備協会 理事長 鎌田 昭良 氏を中心に、

『防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化訪欧調査団』を派遣

2025年3月に 防衛装備庁前長官/防衛省顧問 深澤 雅貴 氏を中心に

『米国・カナダにおける防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』を派遣致し、

2025年8月に 初代防衛装備庁長官/一般財団法人防衛技術協会 理事長 渡辺 秀明 氏を中心に

『東西ヨーロッパ防衛産業における技術・生産基盤の強靱化調査団』を派遣しました。

この度ご好評につき、調査範囲を日米加に広げ 再度 渡辺 秀明 氏に団長としてお引き受け賜り、標記調査団を派遣することとなりました。

ご参加頂ける場合は、以下のデータを一般社団法人日本技術者連盟宛 E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にてお送りください。すぐに事務局よりご連絡申し上げます。

尚、お申し込み締切は、**2026年8月3日(月)**と致します。

1. 参加申込書（本案内最終ページにあります。エデータで提出されたい方はお申し出ください。）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
3. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください。
パスポートは帰国日より90日以上残存有効期間のあるもの）
4. メンバーリスト作成用 顔写真のデータ
（顔がはっきりとわかるもの。パスポート取得時の写真でも可。）

皆様のご参加をお待ちしております。

団長：渡辺 秀明 工学博士

初代防衛装備庁長官・一般財団法人防衛技術協会 理事長

【調査団が注目すべきポイント】

・無人機を短期間で実用化・輸出化した開発体制 ・政府、軍、民間企業、大学、クラスターの連携
・実践経験を設計改良・量産・輸出に反映する仕組み ・エンジン、通信、センサー、ソフトウェア、部品加工まで含む
国内サプライチェーン ・日本企業が今後どの分野で協力・補完できるか



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

『日米加 次世代防衛イノベーション・Dual Use 技術とサプライチェーン強靱化調査団』

Japan-U.S.-Canada Defense Innovation Study Mission
"Dual-Use Technologies and Supply Chain Collaboration"

参加要項

1. テーマ： 『日米加 次世代防衛イノベーション・Dual Use 技術とサプライチェーン強靱化調査団』
2. 期間： 2026年9月13日（日）～9月20日（日） 8日間
3. 主催： 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後援： 一般財団法人 防衛技術協会
公益財団法人 防衛基盤整備協会
5. 団長： 渡辺 秀明 氏 一般財団法人防衛技術協会 理事長

工学博士 ■ 来歴



1977年（昭和52年）3月 - 慶應義塾大学工学部卒業。
1979年（昭和54年）3月 - 慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了。
1979年（昭和54年）4月 - 防衛庁採用。
1979年（昭和54年）4月 - 防衛庁技術研究本部第1研究所 研究員。
1987年（昭和62年）3月 - 工学博士（慶應義塾大学）。
1987年（昭和62年）7月 - 防衛庁技術研究本部第2研究所 研究員。
1988年（昭和63年）7月 - 同 主任研究官。
1989年（平成 元年）4月 - 防衛庁装備局 通信課 部員。
1992年（平成 4年）4月 - 防衛庁技術研究本部 第2研究所 第2部電波2室長。
1996年（平成 8年）4月 - 防衛庁技術研究本部 企画部管理課5班長。
1997年（平成 9年）7月 - 防衛庁装備局 管理課通信、電子システム室長。
1999年（平成11年）7月 - 防衛庁技術研究本部 第2研究所 主任研究官。
1999年（平成11年）9月 - 防衛庁技術研究本部 総務部付。
2000年（平成12年）6月 - 防衛庁技術研究本部 企画部企画官。
2002年（平成14年）8月 - 防衛庁管理局 航空機通信電子課長。
2005年（平成17年）8月 - 防衛庁技術研究本部 第2研究所 第1部長。
2006年（平成18年）7月 - 防衛庁技術研究本部 電子装備研究所 システム研究部長。
2008年（平成20年）4月 - 防衛省技術研究本部 電子装備研究所 研究企画官。
2009年（平成21年）4月 - 防衛省技術研究本部 総務部長。
2011年（平成23年）8月 - 防衛省大臣官房技術監。
2013年（平成25年）9月 - 防衛省技術研究本部長。
2015年（平成27年）10月 - 防衛装備庁長官。
2017年（平成29年）7月 - 退官。
2017年（平成29年）9月 - 政策研究大学院大学政策研究センター 客員研究員。
2017年（平成29年）10月 - 一般財団法人リモート・センシング技術センター 技術参与。
2017年（平成29年）11月 - 多摩大学ルール形成戦略研究所 客員教授。
2018年（平成30年）8月 - SBIホールディングス株式会社 顧問
2022年（令和 4年）8月一般財団法人防衛技術協会理事長

6. 目的・背景

近年、世界の安全保障環境は大きく変化し、防衛装備や安全保障関連技術は、従来の軍事技術だけでなく、AI、サイバーセキュリティ、宇宙技術、無人機などのDual Use（軍民両用）技術を中心に急速に発展しています。

特に米国およびカナダでは、政府機関、企業、大学、スタートアップが連携し、防衛イノベーションと産業エコシステムの形成が進んでいます。また、日本とカナダの間では2026年に防衛装備・技術移転協力の枠組みが整備され、日米加の防衛技術・産業協力の可能性が拡大しています。

本調査団では、防衛・セキュリティ関連展示会への参加および政府機関・企業・研究機関の訪問を通じ、下記について調査を致します。

- ①防衛装備技術に関する国際協力
- ②防衛基盤／生産基盤の強化と防衛産業イノベーション
- ③陸上・海上・航空分野におけるDX化
- ④防衛産業とサプライチェーンのグローバル化と強靱化
- ⑤中堅・中小企業及びスタートアップ企業の支援
- ⑥軍民両用（デュアルユース）の取り組みと技術革新
- ⑦サイバーセキュリティとリスク管理システム

7. 訪問先概要：

<米国>

1) Center for Strategic and International Studies (CSIS)

- 所在地: Washington D.C. 1616 Rhode Island Avenue NW
- 概要: 米国を代表する安全保障・外交・経済安全保障分野のシンクタンク。
- 特徴: 国防総省 国務省 議会 防衛企業 とのネットワークが極めて強い。
Round Table Meeting (案)
Defense Innovation Policy, Economic Security, Indo-Pacific Security, AI, Dual Use Technologies, Supply Chain Resilience, Japan-U.S.-Canada Cooperation などの協議・プレゼン

2) Defense Innovation Unit (DIU)

- 所在地 Washington D.C Mountain View, California
- 概要: 米国防総省(DoD)の防衛イノベーション推進機関として2015年に設立。AI、無人機、宇宙、サイバー、量子技術等の民間先端技術を迅速に防衛分野へ導入するため、スタートアップ企業や大学、研究機関との連携を推進している。
- 特徴: 米国防総省の防衛イノベーション政策の中核機関、Dual Use技術の実用化を推進、スタートアップとの連携制度 (Commercial Solutions Opening等)、従来型調達とは異なる迅速な導入制度

3) MITRE

- 所在地 McLean, Virginia (マクリーン、バージニア州)
- 概要: 1958年設立の**非営利・公共目的の研究開発法人**であり、防衛装備庁、防衛研究所、情報通信研究機構(NICT) 産業技術総合研究所(AIST)の機能を横断的に担う、システムエンジニアリングの中核機関
- 特徴: 米国防総省の「頭脳」の一つ
システム設計 システム統合、AI活用、サイバーセキュリティ、ミッションエンジニアリングなどを担当

4) Skydio

- 所在地 サンマテオ (San Mateo)
- 概要: AIによる自律飛行技術を有する世界有数のドローンメーカー。軍事用途のみならず、インフラ点検、防災、警察・消防など幅広い分野で活用されている。
- 特徴: AI画像認識GPS非依存の自律飛行防衛・災害対応・社会インフラへの応用

5) SRI International

- 所在地 Menlo Park, California (Skydio (San Mateo) から車で約20分)
- 概要: 1946年設立。米国を代表する非営利研究機関で、AI / Robotics / Cyber Security / Sensors / Defense Technologies / Biotechnology など幅広い研究を実施しています。
AppleのSiriの原型となった技術もSRIで開発されました。
- 特徴: Defense Innovation / Dual Use Technology / スタートアップ創出 / Technology Transfer / AI研究
MITREが政府寄りなら、SRIは「シリコンバレー型イノベーション」を見ることができます。

<カナダ>

1) Canadian Association of Defence and Security Industries (CADSI)

- 所在地 オタワ オンタリオ州
- 概要: カナダ最大の防衛・安全保障産業団体。約900社の会員企業を有し、政府・軍・企業を結ぶ中核組織である。
- 特徴: 防衛産業政策、Five Eyesとの連携、NATO協力、サプライチェーン強靱化

2) Innovation for Defence Excellence and Security

- 所在地: オタワ
- 概要: カナダ国防省が推進する防衛イノベーション・プログラム。大学・研究機関・スタートアップ・中小企業と連携し、新技術の実証・実用化を支援している。
- 特徴: AI、Quantum、Cyber、Autonomous Systems、Arctic Securityなどを重点分野としている。

3) National Research Council Canada (NRC)

- 所在地: オタワ
- 概要: 1916年に設立された、カナダ最大の科学技術研究機関。
- 特徴: AI・デジタル技術サイバーセキュリティ航空宇宙量子・ナノテクノロジークリーンエネルギー先端材料自動車・モビリティ海洋工学医療機器など、多様な研究センターを有している

参加要項

8. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある中堅・中小企業及びスタートアップ企業関係者の皆様。

9. 募集人員：15名

10. 参加費：¥1,950,000-（税別・お申込金 50万円が含まれております）

11. 通訳・プロジェクトマネージャー：全行程同行

12. ホテル：一人部屋

13. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

14. 運営実施：株式会社 フレックスインターナショナル《観光庁長官登録旅行業第1306号》

15. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、 **2026年8月3日（月）までに**、E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にて お申込み下さい。すぐに担当者より、ご連絡申し上げます。

- 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
(パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください)
- 名刺のコピー（和文と英文）
- メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも結構です）

16. 代金支払：一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。 期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

※稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承ください。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

『日米加 次世代防衛イノベーション・Dual Use 技術と
サプライチェーン強靱化調査団』 日程表



2026年9月13日（日）～9月20日（日） 8日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	9/13 (日)	羽田 ワシントンD.C.	Air		羽田国際空港 出発 ワシントンD.C. ダレス国際空港着 ワシントンD.C. 泊	機内食 夜 ○
2	9/14 (月)	ワシントンD.C. ワシントンD.C. オタワ	地上交通 Air	右記のいずれか	① 午前 CSIS Round Table Meeting (Part 1) 午後 CSIS Round Table Meeting (Part 2)	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
3	9/15 (火)				② Defense Innovation Unit (DIU) 訪問 ③ MITRE 訪問 夕刻 ワシントンD.C.からオタワへ移動 オタワ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
4	9/16 (水)	オタワ	地上交通		① Canadian Association of Defence and Security Industries ② Innovation for Defence Excellence and Security オタワ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
5	9/17 (木)	オタワ	地上交通 Air		③ National Research Council Canada またはカナダ国防省関係部門 追加企業訪問 夕刻 オタワ → トロント経由 → サンフランシスコへ移動 サンフランシスコ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
6	9/18 (金)	サンフランシスコ	地上交通		① Skydio ② SRI International サンフランシスコ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
7	9/19 (土)	サンフランシスコ	Air		自由研修 サンフランシスコ国際空港出発	朝 ○ 昼 × 機内食
8	9/20 (日)	羽田			羽田国際空港 到着	

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

その他

- ◆ 参加費は、2026年6月1日時点の運賃の10名の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油 特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、前芝浦工業大学学長、工学博士
顧問	野々内 隆 斎藤 信男 松井 一秋	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 内藤 香 林道 寛	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph.D. 元 公益財団法人核物質管理センター理事長 元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

キャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後～旅行開始日の31日前まで：申込金50万円（税別）に加え、航空券・宿泊・現地手配等に要した取消料の実費。
- 旅行開始日の30日前～3日前まで：参加費の50%、及び企画手配料30万円。ただし、航空券や現地地上手配等の取消料の実費が参加費の50%を超える場合は、当該実費総額を優先して適用します。
- 旅行開始日の前々日以降：参加費の100%（全額）
- ※戦争、内乱、テロ、自然災害等の不可抗力により、当事務局が催行中止を判断した場合、あるいは参加者が渡航不能となった場合においても、すでに発生している航空会社・ホテル等へのキャンセル料実費、および企画手配料については、参加者のご負担となります。

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『日米加 次世代防衛イノベーション・Dual Use 技術とサプライチェーン強靱化調査団』

参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）行

フリガナ			
会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)	
E-mail		携帯電話番号	
勤務先	〒 住所		
	電話番号	FAX番号	
ご自宅	〒 住所		
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）			
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦 年 月 日
② いいえ	取得予定日	年 月 日	
強いアレルギーなど ございますか	なし・あり（ ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください）		
語学力	英語について 問題あり・なし、TOEFL点数など ()	英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ ()	
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）		

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は個人情報に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950

FAX : 03-6229-1940